

“「ヒアリ」上陸阻止の水際対策”

～熊本港、八代港コンテナヤード周辺に「ヒアリ」の捕獲トラップを設置します～

- 中国からのコンテナ貨物の取扱いがある熊本港、八代港については、コンテナヤード内を継続して注意深く点検を行っていますが、現時点で「ヒアリ」は確認されていません。
- 環境省九州地方環境事務所からヒアリ対策に関する情報を収集し、この両港について、日常の点検に加えて「ヒアリ」の捕獲用トラップ設置することとしました。

【設置予定期日】

期日：2019年7月18日（火）〈時間未定〉

※両港とも定期コンテナ船寄港日のため、コンテナヤード内作業状況を見ながら設置します。



設置するトラップ（イメージ）

【「ヒアリ(Solenopsis invicta)」】

別名を「アカヒアリ」、漢字で「火蟻」と表され、刺されると火傷のような激しい痛みが生じる。

毒性が強く、毒針で刺されるとアレルギー反応により死に至ることもあり、人体への被害等を及ぼすことから、外来生物法により「特定外来生物」に指定されている。

【捕獲用トラップ】

害虫の存在が疑われる場所に設置することで、その強力な粘着シート上を通過した害虫を捕獲するもの。

港湾課 松岡、久保田(6160)
直通：096-333-2515